

人と人とのつながりを大切に

さんあ5,000本植樹祭とグルメ祭り



## さんむ5,000本植樹祭



九十九里海岸の景観、飛砂防止などの役割を担う防風林、植樹をとおして学ぶ命の大切さや郷土愛を育む活動として、「さんむの森」づくり「さんむ5,000本植樹祭」を、11月6日に開催しました。

親子や友だちなど1,011人が参加し、蓮沼殿下海岸保安林にクロマツの苗木5,000本を植樹しました。

主催した山武市青少年育成市民会議会長の小山氏は、「昨年、小松海岸で2,000本植樹祭を行いました。3月11日に起きた東日本大震災の津波でなぎ倒されました。しかし、20本が再生しはじめていますので、大事に育てていきたい。九十九里浜の白砂青松の景観づくりが目的であります。一人ひとりの人間のつながりや、かかわりを大切にできるような植樹祭になっていただけたらと思います」と、あいさつがありました。

併せて、県民の日の地域行事「グルメ祭り」が開催され、地元産の農林水産物の試食・販売や観光PRが行われ、山武地域の魅力を体感した一日となりました。